

【1 ページ】

「毎月の」頭痛をきたす 45 歳の女性

Anne MacGregor

Barts and the London School of Medicine and Dentistry

【2 ページ】

学習目標

- 発作のパターンを明らかにするためのダイアリー・カードの利用
- 最適な急性期治療の重要性
- ホルモン／非ホルモン予防療法の適応
- 共存症の重要性

【3 ページ】

第 1 段階

【4 ページ】

現病歴

- 毎月の頭痛をきたす 45 歳の女性
- 15 歳時から「悪心を伴う」頭痛がある
- 最近 4 年間にわたって、頻度が増加
- 毎月 1～2 日、仕事を休まなければならなくなったため受診

【5 ページ】

現病歴

- 最近 4 年にわたり
 - 月に 2 から 3 回の発作がある

- その他
 - 特記事項なし

【6 ページ】

その他の病歴

- 妊娠期間以外には混合経口避妊薬を使用していた
- 4年前に第4子を出産してからはコンドームを使用している
- 妊娠中は頭痛に悩まされることはないが、月経が再来すると再び頭痛が起こる

【7 ページ】

身体所見

- 診察時、健康に見えるが、やや顔面蒼白
- 一般身体所見、神経学的所見に特に異常を認めない
- 血圧 120/80 mmHg
- BMI 22 kg/m²

【8 ページ】

第一印象

- 25年前から、悪心を伴う周期性の頭痛がある
- 発作期間以外には症状はない

【9 ページ】

第1段階の問い

- 現段階で最も可能性の高い診断は何か？
- 本症例について他に何か知りたい情報があるか？
- もし必要ならば、最初にどんな検査（検索）をしようとするか？

【10 ページ】

第 2 段階

【11 ページ】

頭痛の診断は何か？

- 反復性緊張型頭痛？
- 前兆のない片頭痛？
- 純粹月経時片頭痛？
- 月経関連片頭痛？

【12 ページ】

診断

表（頭痛ダイアリー・カード）

【13 ページ】

まとめ

- ダイアリーから、月経時の頭痛発作は規則的に起こり、月経開始 2 日前から 3 日目までの期間に始まり、3～4 日続くことが分かる
- それ以外に月に 1～2 回の 1 日の発作がある
- 月経周期は通常は規則的である
- 月経は 7 日間続く
- 片頭痛発作は月経開始前よりも開始後に起こりやすい

【14 ページ】

Clinical pearls（格言）

- ダイアリー・カードは非常に多くの情報を与えてくれる
 - 発作パターン
 - 発作期間
 - 月経との関連
 - 月経パターン

【15 ページ】

さらなる検討

- 尋ねてみると、約4年前から月経困難症と過多月経があることが分かった
- 患者は顔面蒼白である

【16 ページ】

第2段階の問い

- 発作の治療をどのように行うか？
- 他の検査の適応は？

【17 ページ】

第3段階

【18 ページ】

マネージメント

- 症状発現時にはトリプタンを使用し、月経時以外の発作には効果あり
- 月経時の発作に関しては、繰り返し再燃する頭痛の症状に対する効果が低い

【19 ページ】

- 再燃は以下の方法で少なくなることもある：

- ナラトリプタン（アマージ）、frovatriptan といった長時間作用型トリプタンの使用
- トリプタンとナプロキセン（ナイキサン）の併用

【20 ページ】

検査所見

- 顔面蒼白と過多月経があるため、血液一般検査を行ったところ
 - 鉄欠乏性貧血が疑われた

【21 ページ】

第3段階の問い

- 予防療法は有効か？
- 貧血は（頭痛と）関連があるか？
- さらに必要な検査があるか？

【22 ページ】

最終段階

【23 ページ】

マネージメント

- 予防のためのオプションは何か？
 - 継続的予防療法として？
 - 月経期に対して？

【24 ページ】

マネージメント

- 月経期のオプションとして以下のものがある
 - 月経期のトリプタン使用
 - 月経期のエストロジェン・サプリメント使用
 - 月経期のプロスタグランジン阻害薬（ナプロキセンなど）使用

【25 ページ】

マネージメント

- ナプロキセンは月経困難症の治療として認可されている
- （ナプロキセンは）過多月経も改善するが、・・・に比較して効果は少ない？

【26 ページ】

成果

- 診断
 - 月経関連片頭痛
- マネージメント
 - 症状発現時
 - ◇ 長時間作用型トリプタン
 - 月経期の予防療法
 - ◇ ナプロキセン 500mg、1日2回、月経第1日目から開始し、7日間継続

【27 ページ】

その後の経過

- 3/12
 - 片頭痛と月経関連症状は良くコントロールされたが、ナプロキセンの副作用による心窩部不快感が出現
 - ナプロキセンの代替オプションとして
 - ◇ ミレーナ子宮内避妊システム
 - ◇ 混合ホルモン避妊薬

【28 ページ】

その後の経過

- 6/12
 - 月に1~2回、1日の片頭痛発作があるが、トリプタンで良くコントロールされている
 - ミレーナ子宮内避妊システムにより
 - ◇ 無月経状態
 - ◇ 貧血の症状・徴候を認めない

【29 ページ】

最終的考察

- 月経関連片頭痛
- 本症例は月経関連障害を含む月経関連片頭痛の通常の特徴を呈している
- 月経時片頭痛のマネージメントに際しては、背後にある月経関連障害や避妊の必要性について考慮すべきである

【30 ページ】

参考文献

MacGregor EA.

Diagnosis and management of menstrual migraine.

Prog Neurol Psychiat 2011;15(2):11-16